

2017年2月2日

“風疹ゼロ”プロジェクト  
日本遺伝カウンセリング学会は、“風疹ゼロ”プロジェクトに賛同します。

日本遺伝カウンセリング学会  
理事長 斎藤加代子

本会宛て、下記の通り本邦における風疹、ひいては母児感染症としての先天性風疹症候群の発生をなくそうとするプロジェクト(“風疹ゼロ”プロジェクト)の提案を受けました。つきましては本会は本提案に賛同するとともに会員各位、また一人でも多くのみなさまに提言にありますように風疹予防にむけた活動、行動にご協力されますことを願っております。

平成29年2月1日

日本遺伝カウンセリング学会理事長  
斎藤加代子 先生

公益社団法人日本産婦人科医会  
会長 木下 勝之  
常務理事 平原 史樹

“風疹ゼロ”プロジェクト ご協力をお願い

謹啓 時下先生方にはますますご清祥の御事とお喜び申し上げます。

本邦では近年、2004年の先天性風疹症候群児の多数例の出生に伴い、「風疹流行および先天性風疹症候群の発生抑制に関する緊急提言」(2004年9月)が発信されたものの、その効果が十分に得られない中で2013年には再度の風疹流行がおこり、多くの先天性風疹症候群の児が出生いたしました。また「風しんに関する特定感染症予防指針」(2014年3月)では2020年度までに本邦における風疹排除の目標が掲げられておりますが、まだ十分な成果が得られてはおりません。本会は皆様方のご理解、ご支援をいただき、今回こそはその目標達成に向け、具体的な行動として『“風疹ゼロ”プロジェクト』を立ち上げて先天性風疹症候群児の出生をゼロにし、風疹の完全抑制へと進めて参りたく存じます。

つきましては当面、毎年2月4日(風疹の日)―“風疹ゼロ”プロジェクトデーを中心にして、2月を“風疹ゼロ”月間と定め、多くの関係学会、団体、組織の方々のご賛同をいただき、一斉に情報発信、啓発活動を進めてまいりたくご提案申し上げます。貴会におかれましては可及的効果のある方法で情報発信・啓発を願えれば幸いです。なにとぞよろしく申し上げます。

謹白

“風疹ゼロ”プロジェクト

事務局；公益社団法人 日本産婦人科医会 (事務局長 勝又 勝行)

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町14番地市ヶ谷中央ビル

TEL：03-3269-4739 FAX：03-3269-4730

<http://www.jaog.or.jp/rubella/>

本年度の“風疹ゼロ”プロジェクト 啓発活動  
“2月4日”を“風疹の日”・“風疹ゼロ”プロジェクトデーとし、2月いっぱい“風疹ゼロ”月間として、特に下記の情報発信、啓発活動にご協力をお願いいたしたく思います。

## 記

2月4日は“風疹の日” — 『“風疹ゼロ”プロジェクト』 — を進めましょう

1. 風疹にご注意！ わが国では風疹流行のリスクはいまだに消えていません！
  2. 妊娠20週頃まで（主に妊娠初期）に風疹ウイルスに感染すると胎児が先天性風疹症候群になるおそれが生じます。（\*1）
  3. 30～50代の男性は風疹に対する免疫のない方が多く、風疹流行の要因となっています。
  4. 海外流行地への渡航は風疹ウイルスに感染するリスクを上げます。渡航の際は万全の風疹予防対策、また帰国後は風疹発症リスクに対する適切な対応策をとってください。（\*2）
- 2017年2月“風疹ゼロ”プロジェクト— <http://www.jaog.or.jp/rubella/>

- （\*1）先天性風疹症候群：妊娠20週頃まで（主に妊娠初期）に妊婦が風疹ウイルスに感染すると、難聴、心疾患、白内障などの障害をもった赤ちゃんが生まれるおそれがあり、その後、発育の遅れがみられることがあります。（詳しくはかかりつけの医師とよく相談されることを勧めます。）
- （\*2）①アジア、東欧、アフリカ等の風疹が流行している地域へ渡航の際はぜひ風疹ワクチン（通常、【麻疹風疹＝MR】ワクチン）を接種してからでかけてください。
- ・海外の風疹に関する情報は国立感染症研究所のHPでご覧になれます。  
⇒ [「海外での風疹対策の現状」](#) [検索](#)
  - ・海外出張中に現地で風疹ウイルスに感染し、帰国後発症し、軽い“かぜ”と考え出勤して流行させる事例が多くあります。
- ②海外出張の多い企業、組織では職場としての感染症対策を十分にとられることを強く推奨しかつ要望します。
- ⇒ 国立感染症研究所 [「職場における風しん対策ガイドライン」](#) [検索](#)

- なお、現在も多くの市区町村で進めている補助（助成）制度（風疹抗体検査および【麻疹風疹＝MR】ワクチン接種）がありますので各市区町村、地元の保健所にお尋ねの上、利用されることをお勧めします。
- 特に30代～50代の男性は風疹抗体が不足している方が多く、ワクチン接種が必要な方々です。現在【麻疹風疹＝MR】ワクチンが手に入りにくい地域が発生しておりますが、徐々に解決する方向で調整が進んでいます。また風疹ワクチンは通常、【麻疹風疹＝MR】ワクチンが接種されます。【女性（児）は非妊娠期に1歳以上で2回のワクチン接種を受けることが奨められています。男性も2回接種が奨められますが、少なくともまず1回接種を受けることが大切です。】
- “風疹ゼロ”プロジェクトでは今後、2020年度の本邦における風疹排除の目標に向けて、なお一層の具体的提案を続けてまいります。